

天下人・織田信長～その実像に迫る

政治・軍事の天才といわれ、強烈な個性とカリスマ性から今もなお多くの人を惹き付ける織田信長。6人の研究者が、信長の人物形成や、戦略、政略、最期などから、その素顔に迫っていきます。4月から始まる6ヵ月講座です。

●金曜日 13:00～14:30 ●6ヵ月（6回）分 15,000円＋税

入会金無料
キャンペーン
5月31日(木)まで
実施中!

4月6日「家督継承前後の信長―父信秀の事績を受けて」 戦国史研究家 谷口克広

信長は早くから織田弾正忠家の家督を約束されていましたが、父信秀の死に臨んで実際に家督を継承する時、また家督になってしばらくの期間は、その地位を定着させるため大変な苦勞を重ねました。その理由は何だったのでしょうか?そして信長は、地位を定着させた後、父の事績を時には倣い、時には克服しながら、着々と全国の制圧へと前進していきました。父から倣ったもの、克服したものとは、どのようなことだったのでしょうか?



6月1日「信長と武田信玄」 東洋大学非常勤講師 柴 裕之

織田信長と武田信玄、戦国時代の刷新を目指す「革命児」と戦国大名の代表として扱われる両者。その関係はどのように始まり、そして両者はなぜ敵対へと至ったのか。徳川家康の動向を含む周辺政情、足利義昭政権や「元亀争乱」との関係もふまえた最新の研究成果から、両者の関係の実態と展開を探り、さらには両者の敵対がその後の動向にどのような事態をもたらすことになっていったのか、みていきます。



6月29日「信長と足利義昭」 東洋大学非常勤講師 久野雅司

これまで織田信長と足利義昭は、対立的な関係と考えられてきました。「革命児」信長は、自らの武力によって天下を統一する「天下布武」のために將軍義昭を利用し、やがては京都から追放して室町幕府を滅ぼしたとされてきました。一方の義昭は諸国の大名と連携して「信長包囲網」を形成し、「元亀の争乱」で信長と対立したと考えられてきました。講座では、改めて信長と義昭の関係を考え直してみたいと思います。



7月6日「長篠合戦」 東京大学史料編纂所准教授 金子 拓

天正3年(1575)5月21日に起きた長篠の戦いは、織田信長・徳川家康連合軍が効果的に鉄砲を使い武田勝頼軍を撃破した戦いとして知られています。最近長篠の戦いをめぐる研究が大きく進展し、これまで言われてきた鉄砲の三段撃ちに見られる革命的戦術や、「鉄砲隊 vs 武田騎馬隊」というイメージが変わりつつあります。今回は長篠の戦いに関する史料を読みながら、最新の研究成果を紹介し、新たな戦い像についてお話ししたいと思います。



8月3日「本能寺の変を考える」 歴史作家 桐野作人

本能寺の変は明智光秀の謀反動機をはじめ謎が多いといわれます。しかし、相当数の一次史料も残っています。それらを紹介しつつ、最後の数日間、信長は何をしていたのか、光秀がいつ、どういう形で謀反に踏み切ったのかを考えます。また、近年発見された石谷家文書を中心に、信長の四国政策がどのように展開されたのか、長宗我部氏との関係も含めて考えます。



9月7日「織田信忠の実像―天下人の後継者」 戦国史研究家 和田裕弘

織田信長の嫡男である信忠の生涯を概観する。信長の後継者として申し分のない実績を残していた信忠だったが、偉大な父信長の陰に隠れてその実力が過小評価されてきた。本能寺の変で信長に殉じたことでその実像はさらに不鮮明になっている。十九歳で織田家の家督を継ぎ、宿敵武田家滅亡後には天下をも譲られる旨が公表されるほどの実力を備えていた。良質な史料を中心に信忠の実像に迫ります。



詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。

※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。

※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。



名古屋・栄 中日文化センター
Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル

0120-53-8164 10:00～19:00
日曜日は17:00まで

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F